

鹿児島地域アグリ通信

令和8年7月発行

編集 鹿児島地域振興局農林水産部農政普及課

〒892-8520 鹿児島市小川町3番56号

TEL 099-805-7377 FAX 099-805-7408

令和8年度の普及指導活動が始まりました

農政普及課長 山内 徳廣

昨年10月に本県で開催した「全国農業担い手サミット」では、多くの皆様のご協力をいただき、盛大に無事終了することができました。ご支援いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

さて、令和8年度の普及活動が始まりました。

異常気象や原材料、燃料、人件費の高騰、担い手の高齢化による人手不足など、農業を取り巻く環境は年々厳しくなっています。

このような中、本県では、食と農の県民条例に基づく基本方針の見直しを昨年度実施し、農家の所得向上と農村の活性化に必要な数値目標を定めるとともに、各種施策を展開しています。

鹿児島地域振興局農政普及課では、中山間地域における持続的な農業の推進と農村の活性化を図るため、以下の重点課題を設定し、普及活動を進めています。

- 課題1-1 鹿児島地域を支える担い手の育成（経営体）
- 課題1-2 " （新規就農者・青年農業者・女性農業者）
- 課題2 地域の特性を活かした産地づくり
- 課題3 新たな販路開拓を目指した茶産地の育成
- 課題4 新規就農者等の育成による肉用牛産地の維持

また、農村の所得向上を目指し、外国からの旅行者や都市に住む方々を農村に招いて様々な農村体験を提供する取組を、「都市近郊型お手軽旅行チャレンジ事業（地域振興推進事業：2年目）」として実施しています。

今年度も職員一同、一丸となって取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

野菜の高温対策について

近年、気温の上昇により、野菜の不発芽や苗の活着不良、生育不良などの高温障害が発生しています。これらの被害を軽減し、安定した生産を行うためには、適切な高温対策が重要です。そこで今回は、野菜の高温対策について紹介します。

<対策 1>

- ・ビニルハウスでは、遮光材の塗布や遮熱資材の被覆を行い、ハウス内の温度上昇を抑えましょう。近年では、ドローンを活用した遮光材の塗布も行われています。



ドローンによる遮光材の塗布

<対策 2>

- ・定植後は、マルチや敷わらを利用することで地温の上昇を抑えることができます。また、マルチの上に敷わらを施すと、その効果がさらに高まり、土壌表面からの水分蒸発を防ぐことにもつながります。



遮熱資材の被覆

<対策 3>

- ・かん水は、気温や地温が低い時間帯に行いましょう。特に、定植した直後に水分が不足すると苗が枯れたり生理障害が発生したりする原因になります。そのため、適切な量とタイミングで水やりを行いましょう。

<対策 4>

- ・高温で乾燥した時期には、ハダニ類やアブラムシ類などの害虫や青枯病などの病気が発生しやすくなるため、ほ場をこまめに観察して早期発見し、適切な時期に防除を行いましょう。
- ・農薬を散布する際は、日中の高温時を避け、朝夕など気温の低い時間帯に実施して、作物への薬害の発生を防ぎましょう。



シルバーマルチ被覆で地温上昇抑制

<対策 5>

- ・暑さによる生育不良や収量低下を防ぐため、その地域の気候に適し、高温に強い品種を選びましょう。

花きの高温対策について

ここ数年、夏秋期の高温で、花き類では発芽不良、生育不良、品質低下等が見られています。そこで、花き類での主な高温対策技術を紹介します。

表 花きの高温対策技術

分類	内容
冷却	気化冷却（細霧冷房，パッド&ファン）
	空調機（ヒートポンプ，スポット冷房）
	その他（ウォーターカーテン）
遮光・遮熱	被覆資材（内部遮光，外部遮光），遮光塗料
換気	自然換気（天窓，側窓，谷換気等）
	強制換気（換気扇，循環扇）
その他	山上げ，高冷地栽培，品種選定，施肥方法

その他、ここ数年はバイオスティミュラント資材等の活用を検討がなされています。各対策技術については、各品目の費用対効果を考慮した活用が必要です。



図1 ドライミスト



図2 ヒートポンプ



図3 循環扇と遮光



図4 冷房室

畜産の暑熱対策について

肉用牛は種類や成長段階によって適温が異なり、これを超える環境では強いストレスを受けます（表1）。特に30℃を超える環境下では、採食量が減少し、増体や繁殖成績に影響が出ます。

暑熱対策は、畜舎環境と飼養管理の改善を組み合わせることで早めに関心し、夏場を乗り切るとともに、秋以降の生産性低下を最小限に抑えましょう。

- (1) 送風機を回して牛体を冷やすとともに、牛舎内の熱や水分を速やかに舎外へ排出しよう
- (2) 屋根散水や舎内の細霧装置利用で冷却するとともに、舎内を整理し風通しを良くしよう
- (3) 断熱塗料等の屋根塗布、つる性植物や寒冷紗等での遮光で、牛舎内への熱侵入を防ごう
- (4) 新鮮な水を十分に飲めるように、ウォーターカップの清掃や吐水量点検を毎日行おう
- (5) 飼料の品質劣化に注意し、涼しい時間帯に給与するとともに、給与回数を増やそう
- (6) 鉉塩または塩分・重曹の給与、ビタミン、ミネラルの補給を行おう

	適温域 (℃)	生産環境限界 温度(℃)	
		低温	高温
哺乳子牛	13～25	5	32
育成牛	4～20	-10	32
繁殖牛	10～15	-10	30
肥育牛	15～25	5	30

表1 肉用牛の適温域と
生産環境限界温度



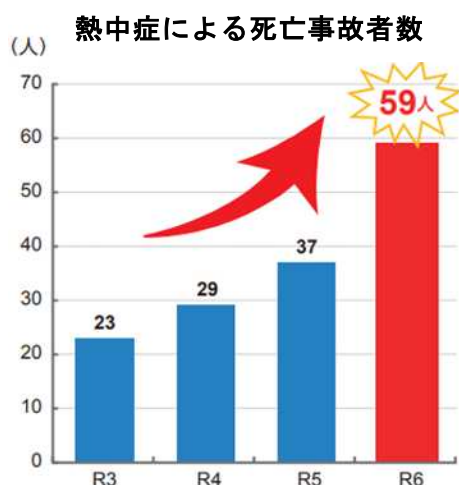
図1 送風機と細霧装置



図2 屋根への石灰塗布

夏季の農作業中の死亡事故が急増しています！

近年、農作業中の熱中症等による死亡者が増加しています。農作業中には、こまめに休憩、水分・塩分補給しましょう。少しでもおかしいと思ったら、無理せず休むことが大切です。



(参照) 農林水産省HP

軽症のとき

涼しい場所へ避難し、風通しをよくして体を冷やし、水分・塩分補給します



中等症以上のとき

救急車を呼び、到着するまでの間、作業着を脱がせ全身を急速冷却しましょう



軽症 めまい・立ちくらみ・手足がつる・こむら返り

中等症 頭痛・嘔吐・倦怠感・虚脱感・集中力や判断力の低下

令和7年度各種認定者を紹介します！

令和7年度は、地域農業振興のリーダー的農家として2名が指導農業士に認定されました。また、農業経営や地域農業発展に積極的に参画している1名が女性農業経営士に、地域振興のリーダーとなり得る農業青年として1名が青年農業士に認定されました。

指導農業士



大久竜星 氏
(鹿児島市 肉用牛)



林大史 氏
(鹿児島市 施設野菜)



宇都友希代 氏
(鹿児島市 施設・露地野菜)



西村学将 氏
(鹿児島市 肉用牛)

女性農業経営士

青年農業士

鹿児島地域振興局農政普及課（普及担当）担当一覧

経営普及係（代表電話：099-805-7372）

農政普及課長



やまうち のりひろ
山内 徳廣

技術主幹兼係長



かみふくもと ますみ
上福元 真寿美
(経営・就農ディレクター)



てたか じろう
樋高 二郎
(経営・作物・農業機械)



にたお ももえ
仁田尾 百恵
(経営・新規就農・女性)

技術普及係（代表電話：099-805-7376）

技術主幹兼係長



いなもり しゅうじ
稲森 修二
(野菜・スマート農業)



みうら のぶゆき
三浦 伸之
(茶・有機農業)



のさき さとし
野崎 聡
(畜産・学校連携)



まさ あさひと
牧 昭仁
(花き・病害虫)



つるた みさ
鶴田 美紗
(野菜・土壌肥料)



はが たけと
芳賀 猛斗
(畜産・鳥獣害)

地域農業の振興に向けて、職員一同がんばります！！